

小説家・万城目学氏が語る！ 学び直しのよもやま話



京都府生涯現役クリエイティブセンター



京都府生涯現役クリエイティブセンター事務局長

前田 志津江

小説家

万城目 学氏



万城目氏プロフィール

1976年大阪府生まれ。

京都大学法学部卒業。

2006年に『鴨川ホルモー』でデビュー。

同作の他、『鹿男あをによし』『偉大なる、しゅららぼん』『プリンセス・トヨトミ』が次々と映像化されるなど、大きな話題に。

その他の小説作品に『かのこちゃんとマドレーヌ夫人』『とっぴんぱらりの風太郎』『悟浄出立』『バベル九朔』『パーマネント神喜劇』『ヒトコブラクダ層戦争』等

五山の送り火が 印象的でした

— 大学時代の京都に関するエピソードを教えてください —

京都には五年間住んでいましたが、過ごしやすかったです。

ただ、京大には京都生まれ・京都育ちの人はほとんどいなくて、大家さんくらいしか、京都人を知らなかったです。

葵祭や祇園祭は行ったことが無いですが、五山の送り火が印象的でした。大学から見ましたが、とても綺麗でした。

「考える」ことが 大事

— 会社員から小説家に転身され現在に至るまで、どのような考えをもって行動されてきましたか —

めちゃくちゃ考えるんです。考えることって大事で、その通りにならないことがほとんどなんですけど。色々なタイミングにぶつかった時に、どれだけ考えていたかで対応の度合いが変わってくる。

僕は、基本的に「ダメ」だと思って想定するタイプです。大体上手くないかなだらうな、という方向で色々考えてます。



覚悟です。

「京都府生涯現役クリエイティブセンター」では、新しい活躍の場を目指して行動されている利用者の方が多くいらっしゃいます。行動を起こすにも勇気が必要ですが、選択を迷っている方に対してアドバイスをお願いいたしますー

覚悟です。保証がないわけですよね。将来が宙ぶらりんの状態を不安がらずに平気で挑戦できる人が一定数いらっしゃいます。その才能があるんだったら、大丈夫だと思えます。保証がないけどやるかどうかは、その人の責任、人生ですからね。

ただ、覚悟する前に、どれだけ考えたか。考えた上の行動であれば、ダメでも自然と苦しい場所に放り出された気にならないと思います。



考えることが糧になり、財産になる

「学び直しにチャレンジしたいという方に向けてメッセージをお願いしますー」

皆さんの取組が上手くいって欲しいですね。応援したくなります。

皆さんはものすごく考えて生きていらっしゃると思います。「考えること」が絶対に糧になると思います。将来は誰にもわからないですが、考えることが糧になり、財産になると思います。

京都府生涯現役クリエイティブセンターのご案内！

当センターでは、多種多様なリカレント研修の実施からキャリアや学び直しに関する相談、マッチング支援まで、いつまでも輝き続けるための“学び直し”をワンストップで支援します！

ビジネススキルから地域貢献まで、多種多様な研修を実施しています！

経験豊富なキャリアコンサルタントがご相談に応じます！
最適なプログラムをご案内する
学び直しコンシェルジュを新設



相談

リカレント
教育



人材
マッチング



合同企業説明会の開催など一人ひとりに合わせたマッチング支援を実施しています！

オンデマンド学習サイト

多彩な講師陣による魅力的な研修動画をいつでも学べます

当センターが運営するナビサイトも無料でご利用いただけます



リカレント情報ポータルサイト

府内大学・経済団体等機関が実施されているリカレント教育の情報が集まっています



京都府生涯現役クリエイティブセンター

TEL: 075-741-8600 E-mail: info@recurent-kyoto.com

アクセス

京都市営地下鉄丸太線「四條駅」北口改札出てすぐ
阪急電車京都線「烏丸駅」26番出口直結
京都市営バス「四條丸太」徒歩すぐ

営業時間

火～金曜日：9時～19時 月・土曜日：9時～17時



公式ホームページ